

2022年12月13日
SBIビジネス・イノベーター株式会社

National Communication Associate主催『NCA 108th Annual Convention』にてWMSの研究内容を発表

～「日本人ビジネスパーソン同士のオープンな対話が創造性を育む」をテーマに
ビジネスシーンにおける対話の有効性を主張～

SBIビジネス・イノベーター株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩吉 直樹、以下「当社」)は、2022 年11月19日(日本時間)に米国ルイジアナ州ニューオーリンズにて開催された、National Communication Association(全米コミュニケーション学会、以下NCA)主催の『NCA 108th Annual Convention』に参加し、ビジネス上の創造性における対話の有用性について発表いたしました。本研究では、日本企業の中で働く人々が創造性を発揮するための効果的な対話について考察いたしました。



◆当社の研究内容

当社は企業の人材育成や組織構築におけるシンクタンクである「わたし・みらい・創造センター(企業教育総合研究所)」(以下、WMS)を有しています。

このたび、米国からコミュニケーション研究の第一人者であるアナスタシア・クリロ氏のご協力のもと、フィンランドで統合失調症の治療に使われている手法である「オープンダイアログ」に着目し、同手法のエッセンスを用いて、対話によりビジネスの創造性を誘発できる可能性について実験を行いました。

その結果、効果的な対話を誘発する要因を発見し、有用性があると認められ、論文がNCAに受理され、2022年11月19日（日本時間）の発表に至りました。

◆NCA 108th Annual Conventionへの参加背景

NCAは1914年に創立した歴史ある団体です。アメリカの大学を中心に世界のコミュニケーションの研究と教育を支援しており、49の研究分野で構成されています。アメリカはコミュニケーションの研究において、世界の英知が集結した最も先進的な国です。その代表的な団体であるNCAからWMSの「企業の創造性を高めるための対話」についてアカデミックな研究員からの客観的なフィードバックをいただきたいと考え、論文申請をした結果、研究内容を高く評価をしていただき、論文発表をする機会をいただきました。

◆発表論文の内容

＜日本人ビジネスパーソン同士のオープンな対話が創造性を育む＞

かつてはイノベーションの縮図であった日本企業の世界的なプレゼンスは低下しています（Schumpeter, 2017）。

ビジネス内で発生するタスク指向型の対話におけるオープン性は、企業がイノベーションの創造的な場になるために必要であると私たちは主張します。

今回の研究では、フィンランドで開発された精神療法のオープンダイアログの概念に基づき、日本のビジネスにおけるコミュニケーションを分析しています。

対話を分析するために、現在の研究では Open Dialogue を適応させた『Trigger Dialogue』と呼ばれる新しい対話分析手法を開発し、イノベーションを妨げる可能性のあるコミュニケーションを研究しています。

グラウンデッド セオリー アプローチを利用したこの分析の結果、この研究では、オープンなコミュニケーションに必要な3つの対話能力が特定され、最終的には日本のビジネスコミュニケーションにおける創造的な空間を育むことができました。

◆論文発表を終えて

今回の論文発表は本場アメリカでの初挑戦ではありましたが、

「今回の研究は独創的で新しい視点でのユニークな研究である」

「日本のビジネスパーソンの中にオープンダイアログは創造性を育てると実感した」

「日本経済の衰退は対話の不足よりも、日本企業の制度や仕組みなどが原因として大きいのでは。例えば年功序列や終身雇用などのシステムが影響として考えられるのでは」

といった、ポジティブなコメントから、日本の組織体制を指摘するコメントまで様々な声をいただくことができました。

WMSでは、今回の学会発表で得た経験やアカデミック視点での質問やコメントを受け、今後さらに「企業になぜ対話が必要なのか」を探求し、日本での対話の有効性やメソッドに磨きを掛けてきたいと考えております。

◆NCA 108th Annual Convention概要

名称: NCA 108th Annual Convention

主催団体: National Communication Association

開催日: 2022年11月19日(日本時間)

発表テーマ: Open Dialogue Among Japanese Business Professionals Fosters Creativity

発表内容: Open Dialogue を適応させ、Trigger Dialogue と呼ばれる新しい対話分析手法を開発し、イノベーションを促進させるコミュニケーションについての実験、研究。

当社登壇者: 松下 信武(まつした・のぶたけ)、頼木 康弘(よりき・やすひろ)

当社研究者: 佐藤 純子(さとう・じゅんこ)、加井 タ子(かい・ゆうこ)、安達 優哉(あだち・まさや)、舘脇 大志(たてわき・ひろし)

協力研究者: Anastacia Kurylo(アナスタシア・クリロ)

<松下信武氏 プロフィール>

SBIビジネス・イノベーター わたし・みらい・創造センター(企業教育総合研究所)

上席研究員

プロフィール: <http://somjp.venus.bindcloud.jp/magazine/pg60.html>

<アナスタシア氏 プロフィール>

Anastacia Kurylo(アナスタシア・クリロ)博士(Ph.D.)

非営利団体『Inform Your Community』創設者 兼 CEO。ラトガース大学で博士号を取得し、大学教授としてアメリカ国内の複数の大学で約 15 年間コミュニケーションの講義を担当。著書・出版物の制作も複数にわたり、直近では『Building Your Social World: Constructing Reality through Interpersonal Communication(ソーシャル・ワールドの構築: 対人コミュニケーションによる現実の構築)』を出版。

また、Tri-State Diversity Council ニューヨーク支部などの非営利団体の理事を務めている。起業家としても、The Lower Manhattan で 5 年以上にわたり The Crafty Kids を経営。

WMSでは、今後もリーディングカンパニーとして、組織や人材のパフォーマンスを高めるための研究により、有益なエビデンスを集積します。そして、私たちの事業理念である「独自性の社会化」を実現するため、日本企業の成長に貢献してまいります。

以上

*

本プレスリリースのお問い合わせ先

SBI ビジネス・イノベーター株式会社 教育ソリューション事業本部 海野 紘子

メール: wmsc@sbibi.co.jp

電話: 03-6773-0710